

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

【地域の現状】

・いずみ野地域ケアプラザはいずみ野駅に隣接し、駅前には商業施設や飲食店があり大変活気がある街となっています。クリニックも駅周辺には多くあり医療面でも恵まれた地域です。一方駅から離れると、買い物をするお店や病院が少なく、住宅街や農耕地が広がっています。高齢化は37%と高いですが、要介護認定率は17%と元気な高齢者が多いです。しかし、包括支援センターには認知症に関する相談が多くなっています。弥生台地区は、戸建てが多く、多世代で居住している方も多い地域です。いずみ野・弥生台共にエレベーターのない集合住宅が多くあることから、今後は高齢者の方々の、外出・通院・買い物といった移動や介護保険外の住民間での支え合いが必要となる地域です。

【今後の方向性】

- ・地域住民の方とともに、地域に必要な移動や外出支援、また、支えあいの仕組みづくりをさらに進めます。
- ・地域の中で認知症に対する理解が進み、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりに取り組めます。
- ・地域住民が主体となって活躍できる多世代の方が集える居場所づくりに取組めます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・何らかの理由で外出が出来なくなった高齢者への支援、「お出かけサポーター」の活動が拡がりを見せています。居場所支援である「お出かけカフェ」も令和6年度は完全自主化へと移行して更なる発展を目指します。活動の担い手にとって活動の場が増えているので、今後もケアプラザの事業への協力・連携しやすい後方支援を進めていきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・「チームオレンジ」事業に参画し、令和4年6月から新たに若年性認知症当事者の方が集まる居場所「フレンドハーモニーの和」を立ち上げ、順調に活動の幅を広げてきました。令和5年度は6年度からご家族の方が自主的に運営できるようにその準備を進めてきましたが令和6年度より家族会が発足し家族同士の話し合いも始まります。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・小・中・高生・地域の方・企業を対象に認知症サポーター養成講座等を実施し、認知症の方への理解が進むよう取組めます。認知症キャラバンメイトになられている方には引き続き「ステップアップ講座」を開催し活動の幅が広がるようにします。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・地域ケア会議を積極的に開催します。地域ケア会議は住み慣れた地域でいつまでも自分らしく暮らせる地域包括ケアシステムの体制づくりへの取組の一つで、高齢者個人に対する支援の会議とそれを支える地域づくりを同時に進めていく方法です。今年度は地域福祉保健計画に沿った形で地域の課題解決に取組めます。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	・多世代食堂を開催します。超少子高齢化が進む中、多世代が集まる食堂を開催することで新たな交流の場が生まれ、泉区が推奨する地産地消取組に協力できる農家や料理人ともネットワークを拡げ、住民が主体となって楽しく活躍出来る居場所づくりに取組めます。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	・地域の皆さん、区役所と一緒に防災に取り組めます。具体的には、昨年12月から出席しているいずみ野中学校での防災運営委員会に今年も継続して出席し、お互いの立場の理解や発災時の連携の取り方など話し合っていきます。また、ケアプラザ内の職員に発災時の避難訓練を実施し福祉避難所についての理解が深まるようにしていきます。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

- ・「お出かけサポーター」や「お出かけカフェ」は多くのボランティアさんの協力のもと順調に活動を進めてきました。
- ・チームオレンジへの取組では「フレンドハーモニーの和」の充実や小・中・高での認知症サポーター養成講座の他、一般企業からの依頼にも対応できました。
- ・地域ケア会議もネットワーク構築型(年3回)と自立支援型(年4回)を実施し地域のケアマネジャーの新たな気づきにつながりました。
- ・10月から「多世代食堂・いずみ野キッチン」がスタートしました。民生委員との連携で、独居高齢者の孤食対策や子ども達(特にかけはしの子達)の活躍できる場所、また泉区が推奨する地産地消への取組などを目的として開催し、更なるネットワークが広がりました。
- ・定期的に地域の防災運営委員会に出席し、地域との連携に務めました。また、12月に当ケアプラザで泉区の福祉避難所開設準備訓練を行うことができました。

区からのコメント

- ・生活支援体制整備事業では、高齢者の外出支援として「お出かけサポーター」や「お出かけカフェ」の取組を進めていただいています。「お出かけカフェ」「ふらっとカフェ」への後方支援も丁寧に行っていたいただき、高齢者の居場所の充実に繋がっています。
- ・地域ケア会議については、自立支援型、ネットワーク構築型を積極的に開催し、医療専門職等も参加し助言するなど、自立支援に向けて効果的なプランが立てられるようにケアマネジャー支援を行っていただき、地域のケアマネジャーの支援力向上にも繋がっています。また、地域ケア会議の振り返りを毎回行う等、その後に向け、よりよい方法を模索し、質の高い会議が開催されています。
- ・今年度新たに「多世代食堂・いずみ野キッチン」を開始いただき、『こども達が活躍できる場』であり、『一人暮らし高齢者が繋がる交流の場』であることに加え、『泉区推奨の地産地消の取組』も視点におき進めていただいています。食堂の開催により、多世代が集まる新たな交流の場となり、住民が主体となって活躍出来る居場所づくりを進めていただきました。更なる発展を期待しています。
- ・認知症支援事業では、若年層に向けた「認知症サポーター養成講座」に当事者が登壇し講話をしたことで、より実感のこもった認知症理解の普及啓発ができたことに加え、認知症本人に活動の場を提供することができ、二重の効果をもたらすことができました。次年度も引き続き、認知症の正しい理解に向けた取組の推進を期待しています。
- ・地域の防災運営委員会への定期的な出席や、福祉避難所開設準備訓練を実施しました。次年度以降も、地域や行政機関と連携し、防災に関する取組の実施をお願いします。